



ホルムアルデヒド放散等級

F☆☆☆☆

1液ファインシーラー

臭気がマイルドで含浸性と密着力に優れた、弱溶剤1液形のエポキシシーラーです。

特長

- ① エポキシ系**
けい酸カルシウム板等の表層ぜい弱素材の強度を高めるとともに、耐水・耐アルカリ性に優れています。
- ② カチオン効果**
浸透性に優れ、下地に対してカチオン効果で強固に密着します。
素材と強固に密着します。
- ③ 弱溶剤1液形**
弱溶剤のため臭気がマイルドで、リフティングの心配がないため、下地を選ばずに塗装が可能です。
各種水性塗料・弱溶剤系塗料との幅広い塗装仕様の組合せが可能となりました。

用途

内外部壁面への新設塗装、塗り替え塗装の下塗り
(内部に塗装する場合は十分に換気を行なってください。)

適用下地

モルタル、コンクリート、PC板、押出成形セメント板、ブロック、スレート、けい酸カルシウム板などの各種素材、各種旧塗膜

標準塗装仕様

新設・塗り替え塗装仕様（下記以外にも各種水性上塗り塗料・弱溶剤上塗り塗料の塗装が可能です。）

新設塗装仕様（コンクリート面）

工程	塗料名	塗り回数	使用量 (kg/m ² /回)	塗り重ね 乾燥時間(23℃)	希釈剤	希釈率(%)	塗装方法
素地調整	ごみ、未硬化セメント粉末、砂じん、油脂などの付着物をワイヤブラシ、皮すき、サンドペーパー、ウエスなどで除去し、乾燥した清浄な面とする。						
下塗り	ニッペ1液ファインシーラー	1	0.15~0.19	3時間以上	無希釈	—	ウールローラー/エアレススプレー
上塗り	上塗り (1回目)	ニッペ1液ファインシリコンセラUV	1	0.12~0.16	3時間以上	塗料用シンナーA	3~8 ウールローラー/エアレススプレー
	上塗り (2回目)	ニッペ1液ファインシリコンセラUV	1	0.12~0.16	—	塗料用シンナーA	8~13 3~8 ウールローラー エアレススプレー

★代表的な上塗り塗料: パーフェクトトップ・水性シリコンセラUV・水性ケンエース・1液ファインウレタンU100・ファインウレタンU100・ファインSi・ファインシリコンフレッシュ・ファイン4Fセラミック

★強溶剤系塗料、弱溶剤つや消し塗料(ケンエースGシリーズ)は、ひび割れが発生する場合がありますので、適用は避けてください。

ニッペ 1液ファインシーラー

塗装基準

調 合：使用前に十分にかくはんしてください。

塗装方法		はけ・ローラー・エアレススプレー塗り
希釈率 (%)		無希釈
使用量 (kg / m ² / 回)	コンクリート・モルタル	0.15～0.19
	押出成形セメント板	0.05～0.09
	ケイ酸カルシウム板 (ケイカル板)	0.15～0.19

※シンナーで希釈せずに、ご使用ください。
※ケイカル板は、メーカー、比重により使用量が異なりますのでご注意ください。
※寒冷地などで著しく結露が予想される押出成形セメント板に塗装する場合は、地域営業担当までご確認ください。
※上記の数値は、すべて標準の数値です。被塗物の形状、種類、素地の状態、気象条件などにより増減しますので、あらかじめ試し塗りを確認してください。

乾燥時間：

	5℃	23℃	30℃
塗り重ね乾燥	6時間以上 7日以内	3時間以上 7日以内	3時間以上 7日以内

※この数値は素材種、素地の状態、使用量、通風および温度などによって異なります。

容量・荷姿

ニッペ1液ファインシーラー	14kg
荷姿=石油缶 [危険物表示] 第4類第二石油類	
色相=淡黄色	

注意事項(詳細な内容については、各商品の製品使用説明書などでご確認ください)

- 本品は既定の塗り重ね乾燥時間よりも早く上塗りを塗付しますと、縮み、割れ、乾燥不良を起こしますので、塗り重ね乾燥時間を守ってください。また、吸い込みの大きい下地や素材の場合は、塗り重ね乾燥時間は長めにとってください。短時間で上塗りを塗付しますと、溶剤による膨れや縮みなどが発生するおそれがあります。
- JIS A 6021の下塗りとしての適性はありません。
- 新設の押出成形セメント板、GRC板などは、1液ファインウレタンU100などの薄膜仕様のみ適用とし、単層弾性仕様・複層弾性仕様にはニッペ浸透性シーラー(新)、ニッペ1液浸透性シーラー、ニッペファイン浸透性シーラーをお使いください。
- 弱溶剤形つや消し塗料(ケイエスGシリーズ)や、強溶剤形上塗り塗料を塗装すると、ひび割れが発生する場合がありますので、ニッペ浸透性シーラー(新)、ニッペ1液浸透性シーラー、ニッペファイン浸透性シーラーをお使いください。
- 溶剤系塗料のため、室内での塗装は必ず換気をしてください。また、外部での塗装においても、換気口・空気取入口などに養生を行い、溶剤蒸気が室内に入らないように注意してください。居住者への配慮をお願い致します。
- カウンター、陳列棚、ベンチ、床面などが常時置かれるような場所には塗装しないでください。油脂分(人の手油などを含む)やアルコールなどがつくと、塗膜が軟化して色移りする場合があります。
- 旧塗膜に発生した藻・かびは、洗浄などで必ず除去し、清浄な面としてください。付着障害をおこすおそれがあります。
- 既存塗膜の剥離箇所は、既存塗膜の塗装仕様でパターン合わせを行ってください。
- 改修工事にご使用の場合は、旧塗膜の種類によっては溶剤などの影響により、旧塗膜を便し溶剤膨れや縮みなどの異常が発生する場合がありますので、旧塗膜の種類をご確認の上、塗装仕様をご確認ください。
- 風化面・吸込みの多い下地では、ニッペ浸透性シーラー(新)、ニッペ1液浸透性シーラー、ファイン浸透性シーラーをご使用ください。
- シーリングの上に、劣化、ひび割れなどの損傷がある場合は、打ち直しをしてください。
- 蓄熱されやすい建材(軽量モルタル、ALC、窯業サイディング、発泡ウレタン使用建材など)を使用した「高断熱型外壁」で、旧塗膜が弾性リシン、弾性スタッコ、アクリルトップなどの場合、塗り替え段階で既に旧塗膜が膨れていることがあります。そのまま塗装すると膨れがさらに拡大する可能性がありますので、完全に除去してください。また「高断熱型外壁」に塗装する場合は、蓄熱、水分、下地の状態、塗装環境など複数の条件が重なることで、建材の変形、塗膜の膨れ、かびが生じることがありますので、最寄りの営業所などにご相談ください。
- 素地表面のアルカリ度はpH10以下、表面含水率は10%以下(ケツ科学社製CH-2型で測定した場合)、または5%以下(ケツ科学社製Hi500シリーズ:コンクリートレンジで測定した場合)の条件で塗装してください。
- 表面のごみ、ほこり、エフロレンセス、レイタンスなどは除去し、目隠し、ジャンカ、コールドジョイントなどは、樹脂入りセメントモルタルで平滑にしてください。
- ALC面、多孔質下地、コンクリートブロック面など外部の素地において巣穴や段差などがある場合は、樹脂入りセメント系下地調整材(ニッペセメントファイラー、ニッペファイラー200)などで処理してください。(合成樹脂エマルジョンパテの使用は避けてください。)
- 新設の押出成形セメント板、GRC板、フレキシブルボードなどは、下塗り材としてニッペ浸透性シーラー(新)、ニッペ1液浸透性シーラー、ニッペファイン浸透性シーラーをお使いください。
- 塗装場所の気温が5℃以下、湿度85%以上である場合、または換気が十分でなく結露が考えられる場合、塗装は避けてください。
- 屋外の塗装で降雨、降雪のおそれがある場合、および強風時は塗装を避けてください。
- 塗装時および塗装後に密閉しますと乾燥が遅れますので、換気を十分に行ってください。
- 塗装時および塗料の取り扱い時は、換気を十分に行ない、火気厳禁にしてください。
- 飛散防止のため必ず養生を行ってください。
- シーリング面への塗装は、塗膜の汚染、はく離、収縮割れなどの不具合を起こすことがありますので行わないでください。やむを得ず行う場合は、シーリング材が完全に硬化した後に行うものとし、塗り重ね適性を確認し、必要な処理を行ってください。また、ニッペプライドオフプライマーを下塗りすることで、汚染の低減が図れますが、シーリング材の種類、使用条件などによりはく離、収縮割れが起こることがあります。
- 笠木、天端など長時間水が滞留する箇所では塗膜の白化、膨れなどが発生する場合がありますので、養生シートの設置方法などに配慮し、換気を促してください。
- 汚れ、傷などにより補修塗料が必要な場合があります。使用塗料のロットは必ず控えておき、補修の際は塗料ロット、希釈率、および補修方法等の塗装条件を同一にしてください。
- 可塑剤が多く含まれる塩ビ珪鋼板、塩ビミネート、プラスチック、ゴムパッキン、合成皮革、塩ビクロスなどへの直接塗装はお避けください。また、これらの部材に塗膜が直接触れることがないようご注意ください。
- 平滑仕上げや鏡面仕上げの場合は、素材や素地の状態によって、吸込みや巣穴によるピンホール、凹凸などを防止するため、パテ工程や研磨工程が必要になる場合があります。
- 使用前に内容物が均等になるようにかくはんし、開封後は一度に使い切ってください。やむを得ず保管する場合は密栓してから冷暗所で保存し、速やかに使い切ってください。
- 塗料漏洩の原因になりますので、保管・運搬時に容器を横倒しにしないでください。

安全衛生上の注意事項(ニッペ1液ファインシーラー)

横倒禁止

- 本来の用途以外に使用しないでください。
- 使用前に取扱説明書を理解して、取り扱ってください。
- 熱/火花/炎/高温のもののような着火源から遠ざけてください。—禁煙です。
- 容器を密閉してください。
- 容器および受器を接地してください。
- 防爆型の電気機器/換気装置/照明機器を使用してください。
- 火花を発生しない工具を使用してください。
- 粉じん/ガス/蒸気/スプレー等を吸入しないでください。
- 必要な時以外は、環境への放出を避けてください。
- この製品を使用する時に、飲食または喫煙をしないでください。
- 取扱い後は、手洗いおよびうがいを十分に行ってください。
- 適切な保護手袋/防毒マスクまたは防毒マスク/保護眼鏡/保護面/保護衣を着用してください。
- 必要に応じて個人用保護具を使用してください。
- 飲み込んだ場合: 気分が悪い時は、医師に連絡してください。口をすすいでください。
- 皮膚や髪に付いた場合、直ちに、汚染された衣類をすべて脱ぎ取り除いてください。皮膚を流水かシャワーで洗ってください。
- 皮膚に付いた場合、多量の水と石鹸で洗ってください。
- 皮膚刺激または発疹が生じた場合は、医師の診断/手当てを受けてください。
- 直ちに、すべての汚染された衣類を脱いでください/取り除いてください。再使用する場合には洗濯してください。
- 粉じん、蒸気、ガス等を吸い込んで気分が悪くなった時には、安静にし、必要に応じてできるだけ医師の診察を受けてください。
- 暴露した時、気分が悪いなどの症状がある場合は、医師に連絡してください。
- 緊急の洗浄剤が必要な場合、直ちに特別処置を実施する。
- 火災時には、炭酸ガス、泡または粉末消火器を用いてください。
- 水を消火に使用しない。適切な消火剤として、粉末、乾燥砂がある。
- 容器からこぼれた時には、布で拭き取って水を張った容器に保管してください。
- 施設して子供の手の届かないところに保管してください。
- 直射日光や水濡れは厳禁です。
- 塗料等の缶の積み重ねは3段までとしてください。
- 日光から遮断し、換気の良い場所で保管してください。輸送中も50℃以上の温度にしないでください。
- 内容物/容器を廃棄する時は、国/地方自治体の規則に従って産業廃棄物として廃棄してください。
- 塗料が付着した可燃物(ウエス、ダンボール等)や塗料カス、スプレーダスト等は自然発火のおそれがあります。速やかに焼却処分するか、容器に入った水に浸して処理してください。
- 塗料、塗料容器、塗料具を廃棄する時は、産業廃棄物として処理してください。
- 容器、塗料具などを洗浄した排水は、そのまま地面や排水溝に流すと環境に悪影響を及ぼすおそれがありますので、排水処理場などの施設に持ち込み、産業廃棄物処理業者に処理を依頼してください。

※上記の表示は一例です。色相などにより、容器の表示とは異なる場合があります。

詳細な内容、表示例以外の商品については、製品安全データシート(MSDS)をご参照ください。

本商品は日本国内での使用に限定し、輸出される場合は事前にご相談ください。

危険

危険有害性情報



引火性液体および蒸気/飲み込むと有害のおそれ/皮膚に接触すると有害のおそれ/皮膚刺激/生殖能力または胎児への悪影響のおそれ/臓器の障害(単回暴露)/長期にわたるまたは反復暴露による臓器の障害/水生生物に非常に強い毒性(急性)/長期的影響により水生生物に非常に強い毒性

日本ペイント株式会社

お客さまセンター

☎ 03-3740-1120

☎ 06-6455-9113

http://www.nipponpaint.co.jp/

- 当社は2013年10月現在、ISO14001を全事業所で認証取得しております。
- このカタログは再生紙を使用しています。

- 本カタログの内容については予告なしに変更する場合がございますのであらかじめご了承ください。
- 「本カタログ中の商品名・会社名は、日本ペイント株式会社・その他の会社の、日本およびその他の国の登録商標または商標です。」
- 「©Copyright2013 NIPPON PAINT Co.,Ltd All rights reserved.」

カタログNo.

NP-R112

NB131007T

2013年10月現在